

日立グループのマイクログリッド型エネルギー供給サービス向け
エネルギーサービス事業の開始
～CO2 排出量削減 15%とレジリエンス向上を実現～

www.tokyogas-es.co.jp

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社(社長:小西 康弘、以下「TGES」)は、このたび、株式会社日立製作所(社長:小島 啓二、以下「日立」)、株式会社日立パワーデバイス(社長:鈴木 雅彦)、日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社(社長:佐藤 深一郎)が行うマイクログリッド型エネルギー供給向けにエネルギーサービス事業*1(以下「本事業」)を開始しました。



ガスコージェネレーション設備



関係者出席のもと 12/27 に竣工式を開催

本事業は、ガスコージェネレーションシステム(以下「CGS」)や冷凍機、ボイラー等のエネルギー機器をTGESが設置し、電気や熱(蒸気・冷水)を日立グループ3社4事業所に供給するもので、年間約4,500t*2のCO2排出削減(2019年度比約▲15%)を見込みます。TGESは、エネルギーサービス事業やスマートエネルギーネットワーク事業等でユーザーとして長年にわたって培った設備運用ノウハウを活かし、自社が運営する遠隔監視センター*3からの24時間365日の監視等を通じて、安定稼働・最適運転支援します。また、将来的には、日立のLumada*4を組み合わせることで最適制御を実現します。

なお、CGSは災害等による系統停電時も自立運転が可能なBOS仕様*5を採用しており、エネルギーレジリエンス向上にも貢献します。

TGESは、自らがユーザーとして蓄積してきた知見と多くのエンジニアリング事業で培ったユーザーズ・ノウハウに基づき、設計施工・保守管理まで一貫したソリューションを提供しています。これからも、お客様の様々な課題解決を通じて、レジリエンスの向上や脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

*1:お客様の敷地内にTGESがCGS等のエネルギー機器を設置・運用し、使用料金をお支払いいただく事業。

*2:2022年10月時点試算値。

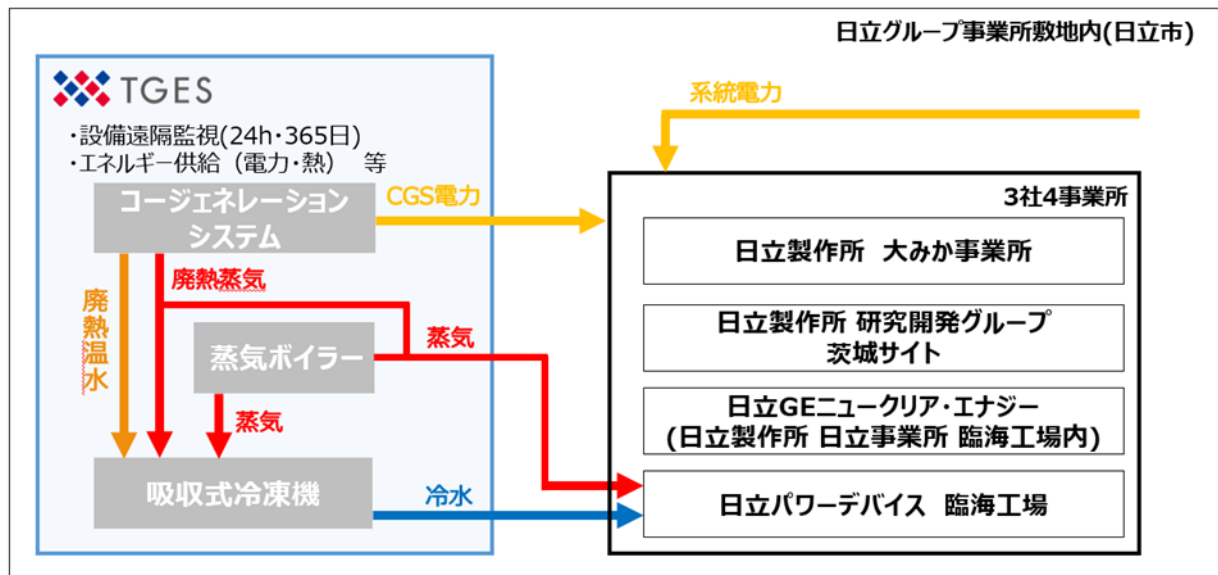
*3:TGESのエンジニアがCGS、冷凍機、ボイラー等のエネルギー機器の稼働状況を遠隔監視し、故障を未然に防ぐ予防保全や運転状況の分析による省エネ運転支援を支える拠点「ヘリオネットセンター」。

*4:お客様のデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション/サービス/テクノロジーの総称。

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/about/index.html>

*5:停電状態で発電機を自立起動させ運転を再開する方式(BOS:Black Out Start)。

【参考:システムフロー】



【参考:システム構成】

機器	能力	基数	備考
CGS	3,356kW	2基	日立パワーソリューションズ製、BOS仕様
蒸気吸収式冷凍機	1,000RT	1基	日立ジョンソンコントロールズ空調製
温水吸収式冷凍機	320RT	2基	日立ジョンソンコントロールズ空調製
貫流ボイラー	2t/h	2基	三浦工業製

■ソリューション事業ブランド「IGNITURE(イグニチャー)」*1について

IGNITURE

東京ガスグループは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023年11月30日、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、「ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客様が、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

*1: IGNITUREの詳細は[こちら](#)